

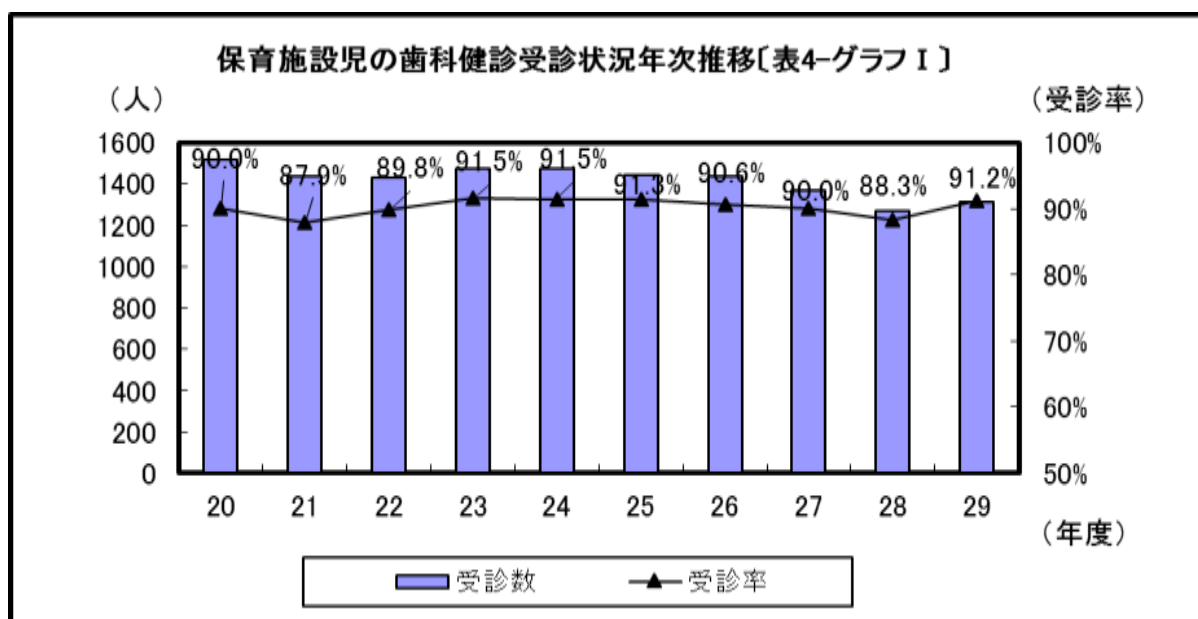
平成 29 年度保育施設歯科健診・フッ化物歯面塗布・書面相談結果

(小樽市内保育施設歯科保健事業のまとめより抜粋)

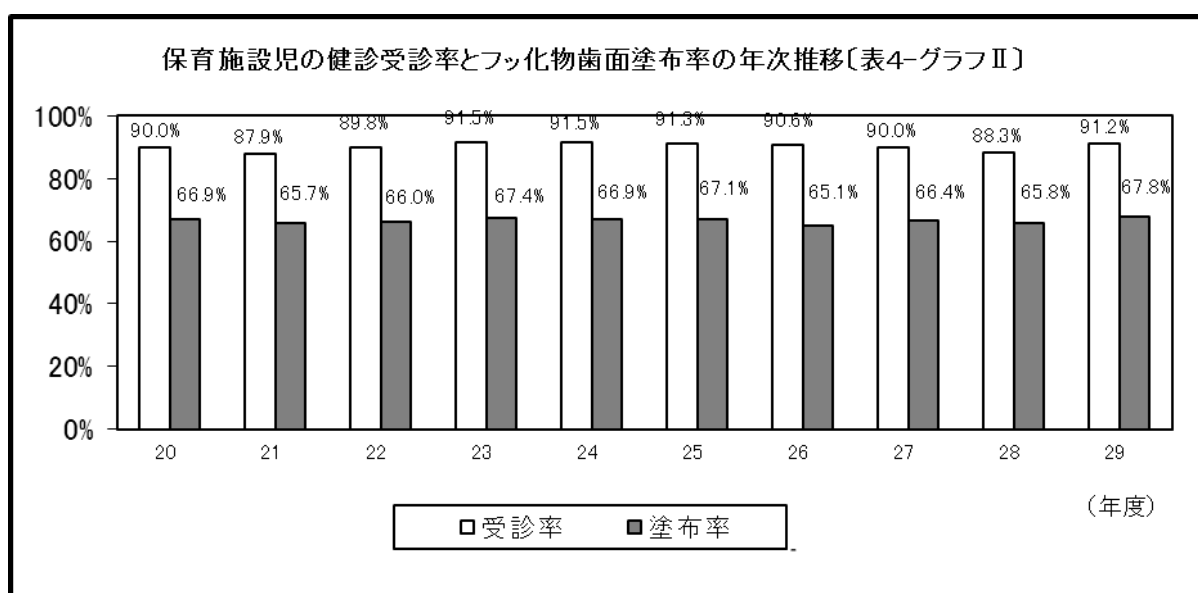


小樽市では、10人以上の入所児のいる保育施設からの求めに応じ、6月～9月までの期間に集中して、歯科健診、フッ化物歯面塗布、書面相談を実施しています。今年度は、上記期間内では、27施設の保育施設に出向き実施し、1,312人(受診率91.2%)の児童が、歯科健診を受け、同時実施のフッ化物歯面塗布については、889人(塗布率67.8%)の児童が塗布を受けました。

◆ 保育施設児の歯科健診受診状況年次推移



◆ 保育施設児の歯科健診受診率とフッ化物歯面塗布率の年次推移



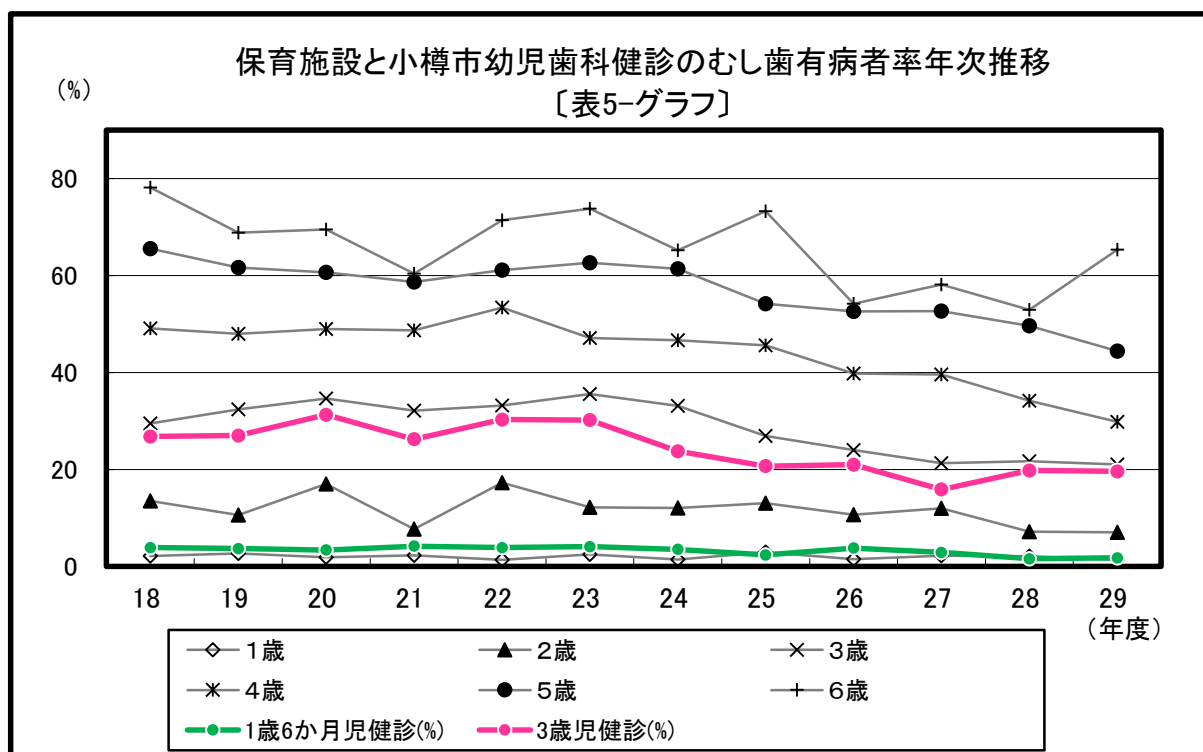
保育施設児のむし歯有病者率の年次推移



保育施設児と小樽市幼児歯科健診児のむし歯有病者率の年次推移（表）

年 年度	1歳 (%)	2歳 (%)	3歳 (%)	4歳 (%)	5歳 (%)	6歳 (%)	1歳6か月児健診 (%)	3歳児健診(%)
18	2.1	13.5	29.5	49.1	65.5	78.2	3.9	26.8
19	2.7	10.6	32.4	47.9	61.6	68.9	3.7	27.0
20	1.9	17.1	34.6	48.9	60.7	69.5	3.4	31.3
21	2.3	7.7	32.1	48.7	58.7	60.4	4.2	26.2
22	1.4	17.3	33.2	53.4	61.1	71.4	3.9	30.3
23	2.5	12.2	35.6	47.1	62.6	73.8	4.1	30.2
24	1.5	12.1	33.1	46.6	61.4	65.2	3.6	23.8
25	3.0	13.1	27.0	45.6	54.2	73.2	2.4	20.7
26	1.5	10.7	24.0	39.8	52.6	54.2	3.8	21.0
27	2.2	12.0	21.3	39.6	52.7	58.1	2.9	15.9
28	2.1	7.2	21.7	34.2	49.6	52.9	1.6	19.8
29	1.4	7.1	21.0	29.8	44.4	65.3	1.8	19.6

(H29 年度法定健診は 9 月末現在の数値)



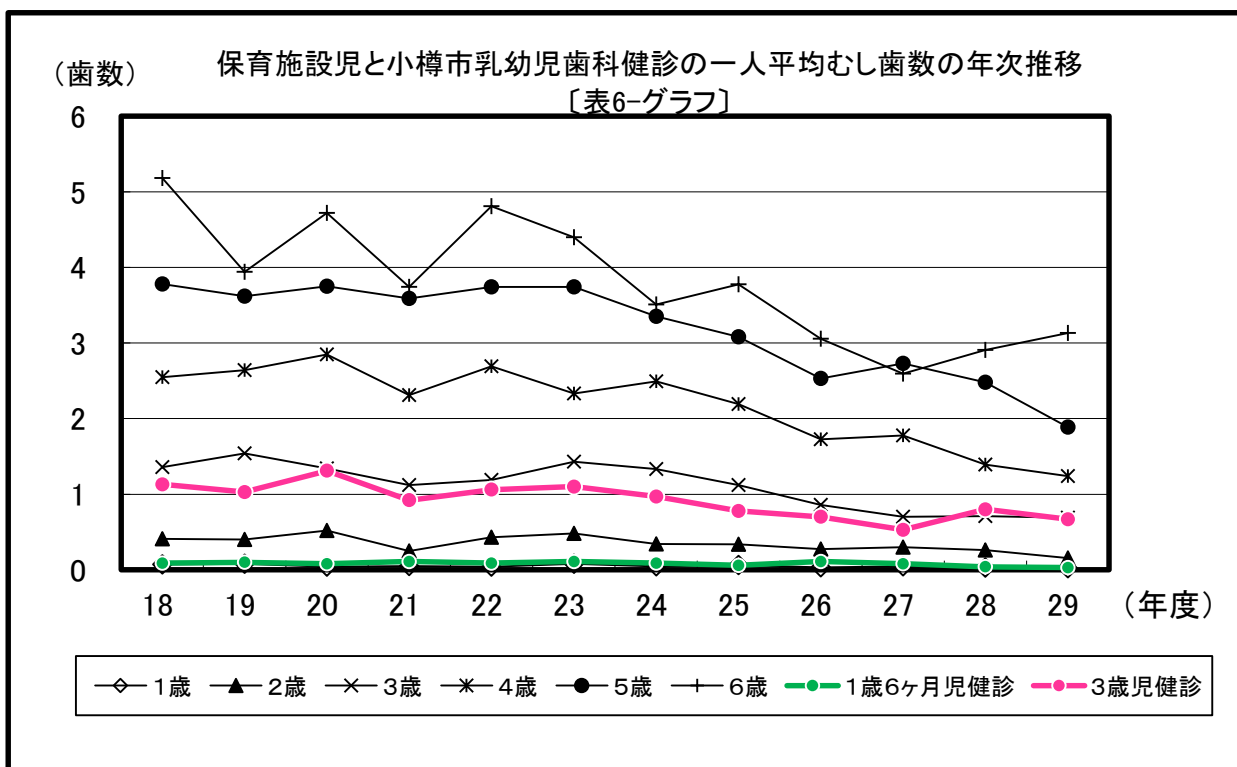
保育施設児の一人平均むし歯数の年次推移



保育施設児と小樽市幼児歯科健診児の一人平均むし歯数の年次推移（表）

年 年度	1歳 (歯数)	2歳 (歯数)	3歳 (歯数)	4歳 (歯数)	5歳 (歯数)	6歳 (歯数)	1歳6ヶ月児健診 (歯数)	3歳児健診 (歯数)
18	0.07	0.41	1.36	2.55	3.78	5.18	0.09	1.13
19	0.08	0.40	1.54	2.64	3.62	3.94	0.10	1.03
20	0.04	0.52	1.34	2.85	3.75	4.72	0.08	1.31
21	0.05	0.25	1.12	2.31	3.59	3.74	0.11	0.92
22	0.04	0.43	1.19	2.69	3.74	4.81	0.09	1.06
23	0.08	0.48	1.43	2.33	3.74	4.40	0.11	1.10
24	0.04	0.34	1.33	2.49	3.35	3.51	0.09	0.97
25	0.06	0.34	1.12	2.19	3.08	3.77	0.06	0.78
26	0.04	0.28	0.86	1.73	2.53	3.06	0.11	0.70
27	0.04	0.30	0.70	1.78	2.73	2.59	0.08	0.53
28	0.03	0.26	0.71	1.39	2.48	2.91	0.04	0.80
29	0.02	0.16	0.69	1.24	1.89	3.13	0.03	0.67

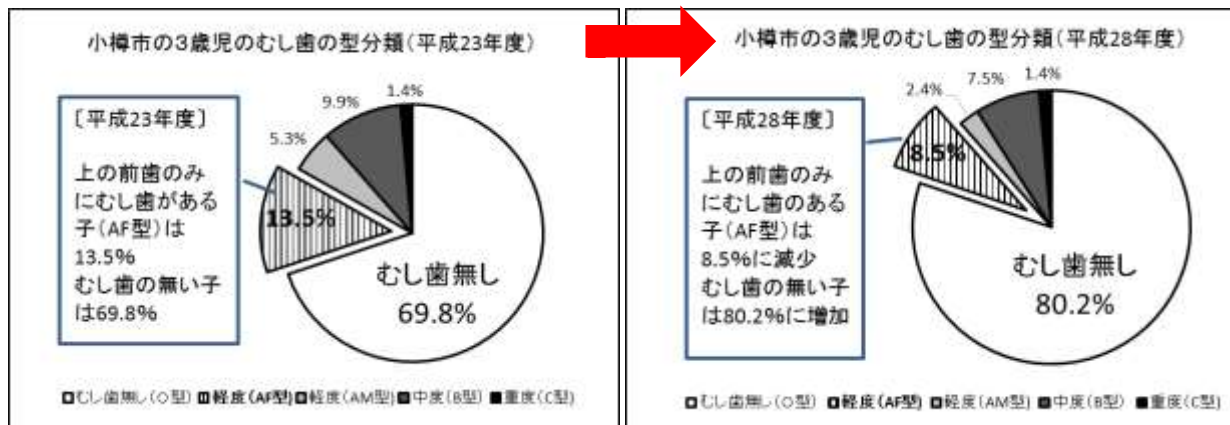
(H29年度法定健診は、9月末現在の数値)



◆ 小樽市の3歳児歯科健康診査の結果から

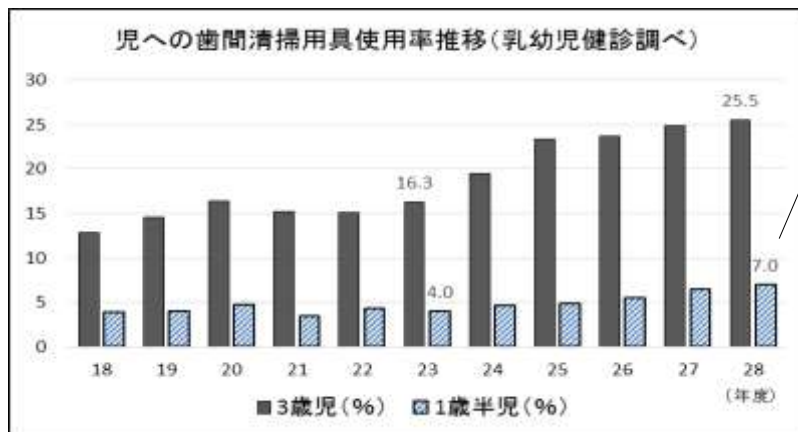
小樽市では、第2次健康おたる21（小樽市健康増進計画 H25-34年）の口腔領域の目標のひとつに、「むし歯のない3歳児を80%以上にする」を掲げています。平成28年度の3歳児健康診査受診児の結果では、むし歯のない3歳児は80.2%となり、計画策定調査時の5年前数値（平成23年度）と比較してみますと、むし歯のない3歳児は10.4ポイント増加しました。

むし歯の型分類で見ると、比較的軽症である上の前歯に限局したむし歯（AF型）が13.5%から8.5%と5ポイント減少したことが、むし歯の無い3歳児が増えた大きな要因です。



まさに、この5年間、「上の前歯のむし歯を減らす」取組を行ってきました。その方法として、上の前歯の歯と歯の間への歯間清掃用具（子どもは糸ようじ）の使用を1歳6か月児及び3歳児の保護者へお伝えしてきました。

年々、親（主に母親）自身や児への使用率が増加するに伴い、上の前歯のむし歯は減少しています。今後も効果的な前歯のむし歯予防対策を充実させていきます。



仕上げ歯磨きを嫌がる1歳6か月児への歯間清掃用具（糸ようじ）の使用は、7.0%で、近年微増中。この時期から使用することが、上の前歯のむし歯予防に効果的です。仕上げ歯磨きをほぼ嫌がらずにできるようになる3歳児への使用率も25.5%で、年々増加中です。



平成28年度の母親自身への歯間清掃用具の使用率は、1歳6か月児、3歳児の母親共に50%強で、2人に1人が使っているという結果でした。親自身が使用することにより、子どもへも不安なく使用できるようになります。（3歳児の母親の使用率は、H25年度より調査開始）

◆ 保護者からの口腔に関する困りごと相談

歯科健診前に保護者からの書面による相談をお受けし、歯科健診後に書面にて回答しています。



書面相談の年次推移

(対象数は、相談票の配布数)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
対象数	1636	1594	1607	1609	1565	1582	1518	1440	1439
実件数	274	256	270	284	258	315	283	308	300
%	16.7%	16.1%	16.8%	17.7%	16.5%	19.9%	18.6%	21.4%	20.8%

保護者からの相談割合（児の年齢別）

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
対象数	71	242	269	271	265	240	81	1439
実件数	4	56	75	57	53	38	17	300
%	5.6%	23.1%	27.9%	21.0%	20.0%	15.8%	21.0%	20.8%

歯の萌出に伴い相談数は増えます。

保護者からの相談割合（相談延数 382 件中の上位 7 項目の内容と占有率）

内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	左記以外	合計
延件数	77	61	53	46	21	17	14	93	382
%	20.2%	16.0%	13.9%	12.0%	5.5%	4.5%	3.7%	24.3%	100%

- ① 歯磨き（フロス、歯ブラシ含む）やうがいのこと
- ② 歯並び、噛み合わせのこと
- ③ 歯の色、形態など
- ④ むし歯のこと
- ⑤ 口臭のこと
- ⑥ 歯の萌出、交換などのこと
- ⑦ 指しゃぶり、おしゃぶり等の習癖のこと

